



関西支部会報

KANSAI

三医会関西支部会事務局

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-20-21
医療法人 杉本眼科
杉本 浩一
TEL 06-6624-1985
FAX 06-6624-6291



三重大学医学部附属病院長 竹田 寛（昭和50年卒業）

活力ある三重大学医学部附属病院を目指して

平成21年4月より三重大学医学部附属病院院長を拝命致しました。これから二年間、病院の発展のために全力を尽しますのでよろしくお願い致します。

(A) 基本方針

三重大学医学部附属病院では、建物の老朽化に加えて深刻な医師や看護師不足という極めて厳しい条件の下で診療、教育、研究が行われて来ました。それは「通常の業務をこなすのが精一杯」と云ったぎりぎりの環境であったと云つても決して過言ではないでしょう。しかしそのよつた切迫した状況下にあっても全ての職員がそれの職責を十二分に果たし、おかげさまで診療、教育、研究のいずれの分野においても優れた成果を挙げ、本院職員一人一人の能力の高さと勤勉さ、優れた協調性を顕著に示しているものと敬意を表しています。そこで私はまず第一に職員の待遇を改善し職場環境を整備して、医師や看護師をはじめとした若手の職員を増やし、全ての職員から「働き過ぎ」による慢性疲労を取り除くことに努めたいと心底願っています。そのためには職員全員が明るく余裕を持つて仕事のできる環境を整備する、とにかく医療安全上も好ましく、患者サービスも向上するものと確信しています。次に附属病院における診療、教育、研究の各機能をさらに充実したいと念願しています。最先端医療や臨床研究が活発に行えることや臨床教育が充実することは、県内における唯一の大学病院として、また Me Medical Complex (MMC) の中核病院としても大切なことです。また MMC の中核病院として、病院の経営基盤を磐石なものとするために欠かせないことがあります。さらにこれからこの病院では患者さんを中心とした医療が行わなければなりません。我々医療スタッフには患者さんやご家族と一緒にになって医療を行っていくという姿勢が必要となります。患者さんに優しい病院作りを目指したいと考えています。三年後には新しい三重大学医学部附属病院が開院しますが、その理念を示します。

(B) 具体的施策

(1) 前記の基本方針を実現するため、具体的には次のような施策をとります。

- (1) 職員の待遇改善、職場環境の整備
 - (2) 患者中心の病院（心和む病院）
 - (3) 最先端医療が安全にできる病院（やりがいのある病院）
 - (4) 次世代の人材育成ができる病院（求められる病院）
 - (5) 独立地条件を生かした病院（海の見える病院）
- これらのことによりも大切であると考えています。

- (2) 病院機能の充実**
- ① 新病院ではICUや救急部がうまく機能しなければ、円滑な移動は望めません。そのためには、新設された臨床麻醉学講座を充実して麻醉科医の増員を図り、ICU、NICU、手術部、救急部などの組織を強化します。② これからの医療の大きなテーマは、「がん」の撲滅と血管性疾患の克服にあります。そのため既に設置されている「がんセンター」「乳



支部長の挨拶

杉本 浩一（昭和42年卒業 大阪府）

(3) 患者中心の病院の実現

① 医療福祉センターの機能を強化し、いろいろな角度から患者サービスの向上を図ります。② 院内学級、患者図書館、食堂や売店の改善に努めます。③ がん患者さんやご家族と医療関係者が互いに交流し情報交換することができる部屋（リボンズハウス）を新設し、長い闘病生活を強いられるがん患者さんの生活支援や精神的なケアを行います。④ 患者さん達のためのコンサートなど様々な企画の充実を図ります。あれこれ沢山ありますが一つずつ粘り強く実現して行きたいと思っています。三医会の諸先生方に今後とも変わることない支援をお願い申し上げます。

三医会関西支部の会員の先生方におかれましては益々健勝のことと存じます。平成20年度はサブプライムローン問題に端を発して100年に一度といふ未曾有の世界的経済危機に直面し日本経済も深刻な打撃を受けました。世の中がこの様な状況ですので税収人が落ち込み財源の問題にも影響し医療費抑制政策が継続されることが懸念されます。また医師不足のために地域医療の崩壊を来たし政府は今までの方針を180度転換して約700名の医学部の定員を増加に踏み切りました。三重大学医学部も地域枠を導入して県内の入学者を増やすこととなりました。少子高齢化の進捗、地方と都会の格差拡大の社会状況、地域の方々の健康に対する不安感の払拭など数多くの問題をはらんだこの1年間でした。三医会本部との連携の強化を推進し、8月には川原田会長と共に関東支部総会に出席し関西支部の活動状況を報告し相互の情報交換に努力しました。2月には京都府のお世話で関西支部総会を開催し本部からのみならず関東、東海支部からも出席して頂いて盛大に開催することが出来ました。5月には関西地区で研修医としてスタートされた方々の歓迎会（8名）と次年度関西地区での研修を希望される三重大M-6の学生さん達との懇親会を例年通り約35名の皆さん出席のもとで開催出来ました。ただ一つ残念なことは関西支部に多大なる貢献をして下さった高橋章三名譽支部長（S33卒卒兵庫県）が1月に薬石効無くお亡くなりになりました。先生の明るいお人柄を偲んでご冥福をお祈り申し上げます。この1年の会務を各会員・役員の皆様に支えて頂いて滞りなく無事に終えることが出来ましたことに厚く御礼申し上げます。平成21年度の関西支部総会は奈良県のお世話で2月14日（日）奈良市での開催が予定されています。これからも支部活動の充実に向けて頑張りますので会員の先生方のご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

高橋章三先生を偲んで

高橋章三先生を偲んで

於 神戸ポートピアホテル 三医会総会にて
(故 高橋先生 右側)

さる1月12日 高橋章三先生がお亡くなりになりました。かねてより闘病生活をなつさておられ昨年神戸で行われた関西支部総会にまだまた頑張っているお姿でしたのに残念です。私は高橋先生よりふた回り後輩で先輩諸兄の追悼文ほどにはなりませんが一言 先生との思い出をのべさせていただきます。先生は生涯ダンディーであられました。私がはじめて先生にお会いしたのは、まだ私が三重にいる時の同門会で、『神戸の高橋です』と挨拶されて以来で当初はその筋の人かと思われる程のいでたちであった様に記憶しております。

その後 小生 神戸に戻り開業しA会員同志としてお付き合いでさせていただきました。開業当初のアドバイス トラブル対処法 金銭トラブル 多々 やさしく 懇切丁寧で相手をひきつける力は絶大であったと思います。私の知るところでは宝塚の方々もその現れかと思っております。今 先生を偲び 思い返し 自分もその様に人に接しているだろうか、いや、してみたいと念するところです。これから高橋先生は私の心中で生き続けます。

橋先生は私の心中で生き続けます。

先生 ゆっくり おやすみください。

松原 隆志（昭和54年卒業 兵庫県）

一年間研修して、まだまだ成長した、とは言えませんが、色々な経験を通して、強くなつたと思います。研修の最初の三ヶ月間は外科でした。始まつたばかりの頃は何をしていいのか判断からず戸惑うことが多かったです。また学生と社会人のギャップに当初はついていけず上の先生方からは「まずは研修より社会人教育だ」と長い目で見て指導していただきました。後期研修医の先生について回っていたので不安なこともあります。また判らないことについては、質問すると気軽に答えてもらえて助かりました。外科では術野を通して体内的解剖を見られただけでなく毎日のカーセ交換を通して創傷治療の過程も見ていけたことが良かったです。また初めて患者さんから「先生が担当で良かった」と言われた時は嬉しかったです。次の二ヶ月間は救急でした。患者さんが搬送されたり処置や検査を今までにならない速さでこなしていくかねばならず、スピードについていけるようになるまでに時間を要しました。救急は二次救急で外傷、脳出血、脳梗塞、薬物中毒、C.P.Aなどの症例を中心でした。担当患者さんは平均15人前後いて、上



「県立西宮病院での研修医生活」

米澤 明子（平成20年卒業）

三医会関西支部総会(於 リーガロイヤルホテル京都 2月22日)



三医会関西支部役職者一覧表（敬称略）

◆支部長 杉本 浩一 (S42年)	◆監査役 庄村 東洋 (S36年)
◆副支部長 (各府県1名)	安藤 仁郎 (S38年)
大阪府 薮山 充 (S52年)	◆勤務医会代表の理事 岡田 行功 (S49年)
京都府 石田 晟 (S39年)	林田 孝平 (S50年)
兵庫県 松原 隆 (S54年)	斉藤 徹 (S52年)
奈良県 西川 勝仁 (S53年)	習田 龍 (H7年)
和歌山県 中村 光作 (S53年)	豊川 貴弘 (H10年)
滋賀県 山形 高志 (S51年)	武内 真有 (H16年)
◆専務理事	◆開業医会代表の理事 布谷 隆明 (S49年)
総務 宇野 敦彦 (H5年)	細野 進 (S51年)
高澤 正志 (H8年)	倉田 順弘 (S54年)
会計 猪尾 芳弘 (H7年)	山下 宣繁 (S59年)
陳 慶祥 (H7年)	有山由布子 (S63年)
厚生 小川 佳成 (S63年)	町田 英世 (H2年)
西原 承浩 (H1年)	
IT 譜久山 仁 (H10年)	
辻川 薫 (H5年)	◆名誉支部長 杉山 茂男 (S24年)

三医会関西支部夏の会
(於 大阪市 安倍乃荘 5月31日)

平成22年三医会関西支部総会のご案内

● 奈良県が担当します。

開催日時 2月14日（日）午後2時～5時

開催場所 奈良市 猿沢荘

〒630-8361 奈良市池之町3

TEL 0742-22-5175 / FAX 0742-26-3874

E-mail : info@sarusawa-so.chikyosai.or.jp

HP : www.sarusawa-so.chikyosai.or.jp/

の先生と一緒に担当し、治療方針を話し合いながら診療にあり、充実した日々でした。
一年間の研修をしていく中で、時には困ったり悩んだりすることもありました。そんな時はいつも同期のみんなに助けられてきました。感謝し尽くせません。このような、上の先生方、同期、症例に恵まれた環境で研修でき、本当に良かったです。今後とも頑張っていこうと思っています。